
コンセントに（恋愛）フラグを差し込む話

My name is GONGITUNE

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

コンセントに（恋愛）フラグを差し込む話

【著者名】

N8035N

【あらすじ】

僕は、彼女の家に入れてもうつた。

My name is GONZIUNE

「「メリークリスマス!」「
シャンパンがなみなみと注がれたガラスが、カチンと高い音を上げた。合わさつた衝撃で、少し漏れる。それが、テーブルの上で飛沫になつた。それすらも、今は綺麗に思える。

「あ、そうだ。ガラスって、本当は当てないで、振りだけなんだつて」

僕が言った。

「なんで?」

彼女が聞いた。

「なんでも、ガラスが傷つくんだってさ」

「へ〜」

彼女は、感心したようだ。

一日遅れのクリスマス。だけど、すごく新鮮な感じがした。理由は、彼女がいるからかもしれない。友達に、「リア充爆発しろ」と言われたけど、爆発してもいい。いや、爆発したら、彼女と別れる事になる。それだけは避けたい。

「リヨーちゃん、これ見ていて」

彼女は、プラグをコンセントに差し込む。手には、熊の可愛らしい手袋をしている。

途端に、真っ暗だった部屋が、ぱあっと光った。豆電球で、文字ができる。そこには、『リヨーちゃんLOVE?』と書かれていた。

た。

「……ありがとう」

「声が小さい」

「ありがとう」

「よし」

暗い部屋で光る豆電球。それが、俺の中で『单なる光』から、『

神聖な光』になつた夜だつた。
メリークリスマス。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8035z/>

コンセントに（恋愛）フラグを差し込む話

2011年12月25日19時47分発行